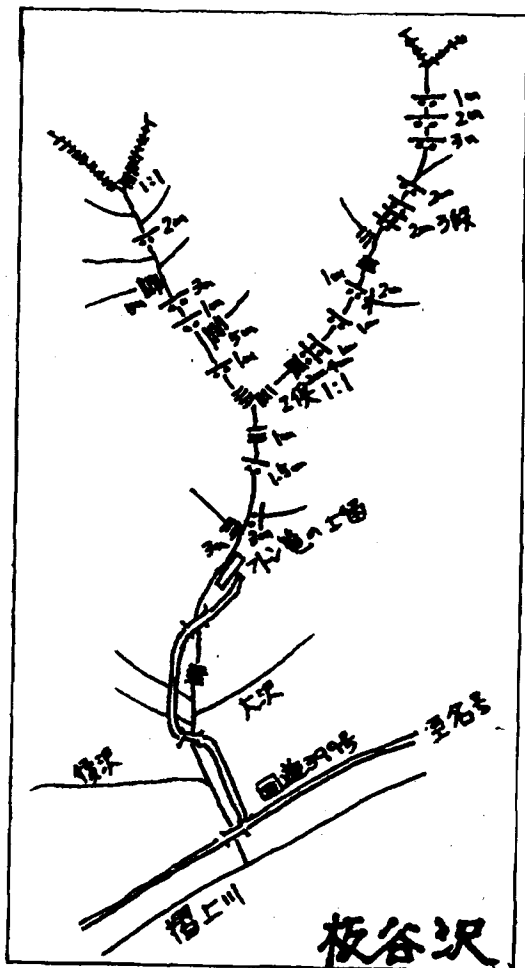


国が行なってきた事業だと聞いていたが、国有林は至る所伐採され、裸阿然にされているように見える。赤字を理由に伐採が急激に進んだり、造林に手を抜くようなことになれば、自然は破壊され、日本の緑は危機に面してしまうのではないだろうか。

(記・.....)

[タイム] 落合橋(14:45)→板谷沢出合(14:55)→橋(15:55)



合→二俣(14:45)→左俣終了(15:10)

### 板谷沢左俣

1985年8月31日

4

板谷沢林道起点に車をデポし、しばらくは林道を歩いて、大沢出合から遡行を開始する。しばらくは林道との並行で河原歩き。やがて林道も終点となり、フトン籠による土留とコルゲートパイプの排水管がある。この所、右岸、左岸より滝状となって小沢が合流している。

先に進むと二俣となる。水量はほぼ同量。地図に水線の引かれた左俣に入る。適当に小滝が出てきて、変化に富んでくる。

源頭部に来ると、倒木が沢を覆って歩きにくい。倒木の下は花崗岩のナメとなっており、稜線まで一気に突き上げているのを確認して遡行終了とし、戻ることにする。(記・.....)

[タイム] 林道起点(14:00)→大沢出

### 板谷沢右俣

1985年8月31日

L

板谷沢左俣の遡行を終え、いったん二俣まで戻る。時間を見たらまだ余裕があ